



ユネスコ記憶遺産に登録するための活動が展開されています。上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会(以下、登録推進協議会)は本年六月十六日、ユネスコ国内委員会に申請書を提出しました。平成二十九年度の登録を目指しています。

上野三碑とは高崎市内にある三つの石碑(山上碑、多胡碑、金井沢碑)の総称です。国内に現存する平安時代以前に造立された石碑は十八例しかなく、そのうち三つが高崎市南部に集中しています。(添付地図参照)

碑に刻まれた内容は当時の日本の社会制度や家族制度、東南アジアとの国際交流の様相を伝えるもので、その重要性から三碑とも国の特別史跡に指定されています。山上碑は日本語の語順で漢字を並べた最古級の歴史資料、多胡郡の建郡を刻した多胡碑の文字は十六世紀以降の日本と中国の書の手本とされてきました。金井沢碑は仏教の広がりや当時の家族制度が記されています。(高崎広報七月一

日号より)

高崎市内に住む私たちにとり三碑は大変身近な存在で、私は子どもの頃から接してきました。今、それらが群馬県、高崎市、登録推進協議会等の尽力でユネスコ記憶遺産登録を目指すところにこぎつけられたことは大変喜ばしい限りで、今後の動向に強い関心と期待を寄せているところです。

今後、高崎ユネスコ協会の役員や会員とともに登録推進の活動に関わっていく所存です。さらに、県ユネスコ連とも連携していくことができれば幸いですと考えています。よろしく願います。

富岡ユネスコ協会

会長 高橋聡一郎

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコ世界遺産登録・国宝に正式登録されました。同時にその瞬間に立ち会えたことは、会員にとって大変喜ばしく、感動した一年でもありました。

さて、今年も昨年同様小学生を対象に世界遺産関連事業としてスタディツアーを秋に実施、ユネスコ活動普及啓発作文応募は小中学校の協力により夏休みの課題として取組んでいただきました。寺子屋運動(書き損じハガキ回収)も例年同様三千枚を目標に来春早々に実施致します。

少年少女合唱団に於いては九名の新団員が加入し、秋の文化祭、来春の定期演奏会に向けて日々練習に励んでおります。

す。

今年も事業を通して、若者たちに世界共存の認識と思いやりの心を培い、世界平和実現の自覚を高める為、積極的にユネスコ活動を推進してまいります。



沼田ユネスコ協会

沼田ユ協の

目指すもの

会長 小林 照夫



今年の五月の気候は真夏のような陽気でした。地球の気候は年々温暖化が進み、人と生物はその気候に対応して生きて行かなくてはなりません。温暖化にストップを懸けたいものです。

本年の沼田ユ協総会の後に、藤岡地方

ユ協会長岸正博先生に講演をお願いし「ESD」「ユネスコスクール」の目指すものと題して貴重な講演を頂き、今後の活動の参考にし、ユネスコの綱領に基づきユネスコスクールを広めて行きたいと考えております。

一昨年利根実業高校がユネスコスクールに認可されました。全校の生徒参列の中で盛大に認定書伝達式が行われ、先生方や生徒達の姿が輝いていました。ユネスコスクールのネットワークの活用で日本一の実業高校を目指して頂きたいと願っています。

「ESD」と「ユネスコスクール」は地域や子供達にユネスコの理念を理解して、後世につなぎ伝えて頂きたいと願うしだいです。今日の学校は学力向上に重点を置いています。子供達の将来は社会で活躍のできる幅の広い人間になって頂きたいのです。

本年沼田ユ協の事業計画は次の通りです。

一 県ユ協総会と県ユ協事業に参加、協力

二 沼田ユ協総会、講演会

三 民間ユネスコの日「平和の鐘を鳴らそう」

四 国際理解バス

五 沼田ユ協研修視察

六 沼田市中学校英語スピーチコンテスト

七 ユネスコ沼田二十八号発行

八 書き損じハガキ回収キャンペーン

九 新年交流会